

岡山 HIV 診療ネットワーク 第 103 回研究会のご案内

岡山県における後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)の発生状況は、2010年は22例であり、2009年の13例から大幅に増加しました。また約半数がいわゆる「初診時エイズ発症」例であり、いまだ早期診断が十分出来ていない現状の問題点が浮き彫りになっています。第103回の研究会は、事例紹介を中心にプログラムを組みました。多数の皆様の参加をお待ちしております！

記

日時：平成 23 年 5 月 24 日(火曜日) 午後 6:40～8:30

場所：倉敷中央病院・総合保健管理センター「古久賀ホール」

倉敷市鶴形1丁目 8-5 TEL086-422-6800(代表)

当番世話人：藤原充弘（倉敷中央病院小児科）

横溝素子（倉敷中央病院看護部）

定例会予定：

- ①6:40～7:00 報告 司会：横溝素子
「岡山県における HIV 診療の現状」
和田秀穂/川崎医科大学血液内科学
- ②7:00～7:20 事例検討 1 司会：和田秀穂
「リンパ節結核で発症した後天性免疫不全症候群の一症例」
國政 啓/倉敷中央病院内科
- ③7:20～7:40 事例検討 2 司会：和田秀穂
「結核性心膜炎にて発症した後天性免疫不全症候群の一症例」
興梶陽平/倉敷中央病院内科
- ④7:50～8:10 事例検討 3 司会：藤原充弘
「HAART と皮疹」
岡 大五/川崎医科大学皮膚科学
- ⑤8:10～8:30 事例検討 4 司会：藤原充弘
「HAART の開始によって意識障害の急速な改善が得られた一症例」
福田寛文/川崎医科大学血液内科学

主催：岡山 HIV 診療ネットワーク*

◆入会ご希望の方は、年会費 1,000 円を受付時にお支払い下さいますようお願い致します。

次回のお知らせ：第 104 回研究会は平成 23 年 7 月 26 日、川崎医科大学附属病院で研究会

★★茶菓を準備しますが、数に限りがあります★★